

学校関係者評価報告書  
(平成28年度)

平成29年9月

学校法人 国際総合学園  
アップルスポーツカレッジ

## 会議議事録

事業名	学校関係者評価委員会
学校名	専門学校 アップルスポーツカレッジ

会議名	学校関係者評価協議会
開催日時	平成 29 年 9 月 21 日 (木) am 10:00 ~ am11:00 (1h)
場所	アップルスポーツカレッジ 3F コーチング R
出席者	<p>①委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内藤 真理子 (新潟アルビレックス BC)</li> <li>・植野 翼 (新潟アルビレックス RC)</li> <li>・蟻浪 亮 (新潟プロバスケットボール)</li> </ul> <p>②・萬歳 憲重 (学校長) 石井 和昭 (副校長)、 本間圭一 (教務部長)</p> <p>(参加者合計 6 名)</p>
	<p>●次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 学校長挨拶</li> <li>3. 評価委員紹介</li> <li>4. H28 年 学校自己評価報告</li> <li>5. 意見聴衆及び要望</li> <li>8. H28 年 学校向上アンケート報告</li> <li>9. 意見聴衆及び要望</li> </ol> <p>●H28 年度 学校自己評価報告 (石井)</p> <p>①教育理念・目標 課題及び改善策 : 専門学校の特性をさらに訴求していく (最短 2 年、即戦力、大学編入 etc) 授業クオリティを維持し、カリキュラム時間の抑制</p> <p>②学校運営 課題及び改善策 : 学校周辺の通学路における学生の行動など指導する。</p>

	<p>年1回の近隣情報交換会で各自治会様との情報共有しながら対策を講じる</p> <p>③教育活動 課題及び改善策 ：現場実習箇所の抑制。実習箇所を抑える事で、巡回の確保及び現場と学校連携強化を図る</p> <p>④学修成果 課題及び改善策 ：卒業生が転勤や転職等で全ての勤務先を把握できていない状況が一部ある 県内を中心として把握しているが、県外まではマンパワーの問題もあり、今後検討</p> <p>⑤学生支援 課題及び改善策 ：高校との連携によるキャリア教育・職業教育を今後も拡大させていく必要がある。スポーツ業界における職業需要の現状や必要性を更に訴求させ、スポーツ業界従事者の選択肢を伝えていきたい。 → 中・高への運動指導講座を展開。 → インターンシップ現場では85箇所を実施。小・中・高・大学の授業・部活動での運動サポートやトレーナー実習を展開。民間施設では、整形外科・接骨院・スポーツクラブ・福祉施設・保育園・スポーツショップ・プロチーム等で現場経験できる環境を展開を継続中</p> <p>⑥教育環境 課題及び改善策 ：外部環境を利用する事が多く、バス移動の時間を効率化する事が目標である。各科時間割と外部施設を精査。効率化で学生満足度も狙う ハード面では未だ外部施設を利用していくことが多い</p>
--	--

⑦学生受け入れ募集

改善及び改善策

- : スポーツ・運動要素は医学業界、福祉業界、教育業界に需要度が高まっている事を高校生に伝えていく必要がある。
- 2年間で資格取得可能
- 即戦力
- 2020年東京オリンピック開催に向けて、スポーツ業界の雇用は拡大

⑧法令等の遵守

改善及び改善策

- : 教職員・学生・保護者へのアンケート調査を実施してきたが、少しずつではあるが、改善してきている。今後も改善に向けて実施してい

■植野 翼

確かに2020年東京オリンピックに向けては、スポーツに対してのメディアの取り扱いも多くなってきているし、ファミリーマートが24時間のフィットネスジムを展開していったり、新潟市内でも他企業ではあるが24時間ジムがオープンしている事を身近に感じているので、雇用は今後も増えニーズ拡大するのではないかと感じている。そこでASCが人材育成していく事が重要だと思います。

■蟻浪 亮

少子化に伴い、私が在籍していた頃に比べれば学生数も減少しているようですし、実習箇所を少なくして巡回指導回数を確保することは理解できる。それで、今以上に巡回数が多くなれば学生達も見られている意識もあるし、先生と現場担当者の連携強化でより良い実習体制になるのではないかと思います。

■内藤 真理子

スポーツ施設の充実に向けて、今年は本校舎隣接の「3×3バスケットボールコート2面」ができたことは、学生達にとってはと

でも良い環境になってきていると思う。

●H28 年度 学校向上アンケート報告（本間）

教務部長より下記資料を用いて説明し、学校運営状況について報告した。

- ・学校向上アンケート結果（教職員）
- ・学校向上アンケート結果（学生）
- ・学校向上アンケート結果（保護者）

**■内藤 真理子**

昨年も申し上げましたが、実習先に入る際や就職面接など、やはりスポーツの学校として、挨拶・礼儀はしっかりとやられているので継続して欲しい。知識・技術は現場に来てからでも遅くはないです。後は意識づけのサポートをして頂いてから組織に入ることができれば、現場としては非常にありがたいです。

**■蟻浪 亮**

企業や学校も入る前と、入ってからはそれなりのギャップはあろうかと思えます。そのギャップは入ってから先生方が学生の目指す目標に対して、様々な対策を講じる事になるだと思えます。検定や就職または大会などの目標がそれあたりがポイントではないでしょうか。

**■植野 翼**

先ほどの内容でも上がっていたが、アップルの専用施設として、「3×3バスケコート」はバスケ以外にも使用できる可能性もあるので、色んなイベントを行ってもよいと思えます。学生の満足度もあがるのではなでしょうか。

**●今後の要望案**

- ・挨拶礼儀の継続指導
- ・入学前のイメージと入学後のギャップ埋める為の施策改善  
毎年入学生の反応や目標傾向が変わるため、ぜひお願いしたい。
- ・3×3バスケコートで授業以外にイベント企画して、学生に有意義な学生生活を楽しんで欲しい。必要で企画であれば協力したい。

以上